

経営比較分析表（令和元年度決算）

石川県宝達志水町 町立宝達志水病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPG対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	7	-	ド訓	救
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
13,004	6,097	第2種該当	10:1	

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

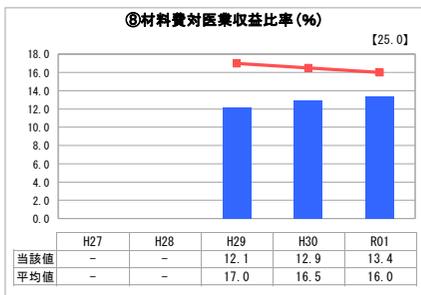
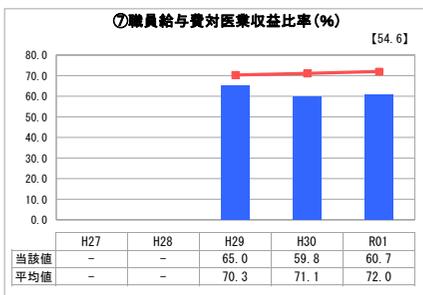
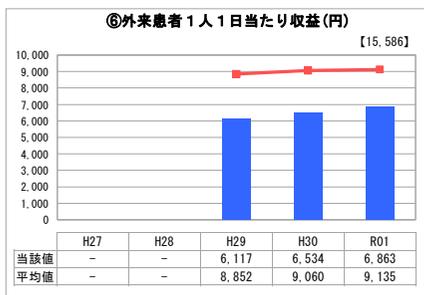
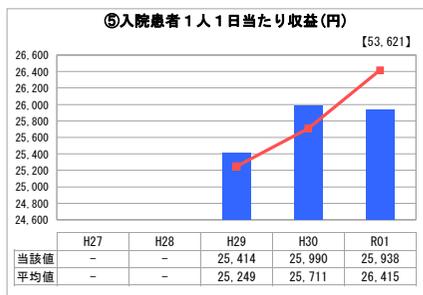
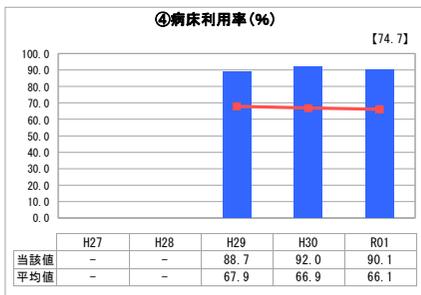
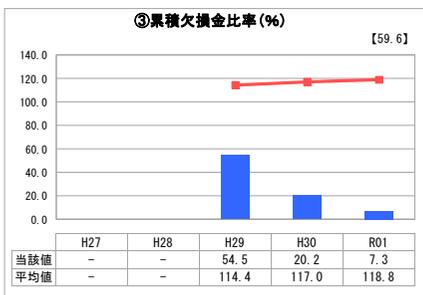
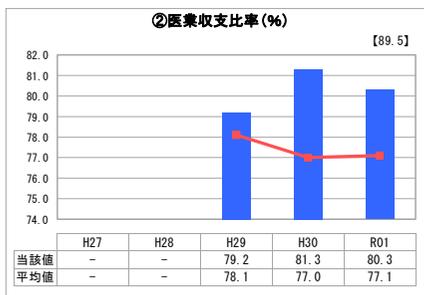
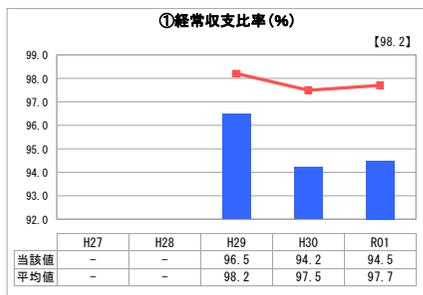
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
43	27	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	70
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
43	27	70

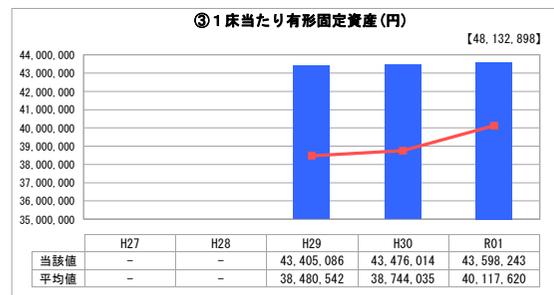
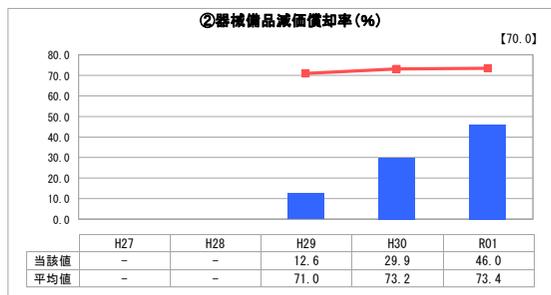
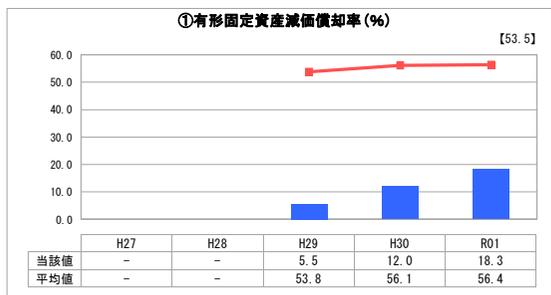
グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
- 年度	- 年度	- 年度

I 地域において担っている役割

国保直診病院である町立宝達志水病院は、地域に密着した病院として地域住民の健康と医療の確保のために果たすべき役割を継続して提供することが求められている。特に医療・保健・福祉（介護）の連携については、体制を強化し「地域包括医療・ケア」の更なる構築を図る必要がある。また、町の保健部門と連携して医療費の抑制策にも取り組むものとし、特定健康診査・特定保健指導事業を積極的に実施するものとする。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

町立宝達志水病院は平成29年5月に開院しており、年間における減価償却費が多く計上されている。そのため類似病院平均と比較すると、経常収支比率は下回っている。しかしながら経営の効率化等により医業収支比率では類似病院平均を上回っており、累積欠損金比率も年々減少している。数年後には、経常収支比率も類似病院並みとなる見込みである。これからは地域における良質な医療を提供していくために、引き続き、経営効率化、経営形態の見直しなどの改革を継続していく。

2. 老朽化の状況について

平成29年5月の町立宝達志水病院の開院に際し、必要な医療機器等を更新、新規購入等を行い医療体制の充実を図った結果、償却率の上昇幅が類似病院平均と比べ大きく上昇している。特に耐用年数の短い器械備品減価償却率の上昇が高くなるため、機器の計画的な更新を検討していく必要がある。

全体総括

町立宝達志水病院は地方公営企業として、地域医療の確保のため自らに期待されている役割に基づき、住民に対し恒常的に良質な医療を提供するとともに、安定的な経営基盤を確保する必要がある。このことから、積極的に経営の効率化を図るものとする。

- 町立宝達志水病院建設後に起債の償還額及び減価償却費が増大したため、経常収支が当面赤字となるが、早期の黒字化を目指す
- 病床利用率、外来患者数の増加による収入確保
- 診療単価の引き上げによる収入確保
- 経費、材料費など費用比率の抑制
- 職員数の適正管理による人件費の節減